

# 一般質問

## 自殺対策基本法と市の取り組み

板倉 一幸 議員  
民主・市民ネット

日本では、8年連続で自殺者が3万人を超える事態が続いており、本年6月に自殺対策基本法が制定されたところである。

市においても責任を持つた取り組みをしていかなければならないと思うが、どのように考えているか。

また、現時点での具体的な施策等の考えはあるのか。

答 自殺対策基本法は、自殺の防止施策と併せ、自殺者の親族等に対する支援などを総合的に推進することを目的に、自治体や事業主等それぞれの責務が定められている。

市としても、自殺対策は重要な課題であると受け止めており、今後政省令等が明らかになった時点で、北海道の動向を踏まえながら、ライフステージ別の相談体制など、総合的な取り組みについて検討していきたい。

その他の主な質問項目  
公益通報者保護制度  
住宅用火災警報器の設置  
地方公営企業法全部適用後の病院経営

## 水族館の財政負担と計画の凍結

小野沢 猛史 議員  
はこだて市民クラブ

基本計画(案)では、基本構想と比較すると、施設規模の拡大等により入館者数の増加やラニングコストの赤字縮減を見込んでいるが、入館者数が予測どおり推移しない場合、市の財政に大変な負担がかかるのではないかと、いったん計画を凍結し、子ども等への学習プログラムに取り組みながら施設の必要性を見極めてはどうか。

答 は、類似する施設の立地条件や規模から設定したモデル式により推計したものであり、市内や近郊の年齢階層別人口等に一定の割合を乗じて積み上げた数値との比較からも妥当なものであると考えている。

## 廃棄物最終処分場の延命策

工藤 恵美 議員  
市民自由クラブ

問 七五郎沢廃棄物最終処分場の当初計画埋立期間である平成28年埋立て終了が平成21年までしか保たなく、その非常事態に対し、どのような延命策があるかを以前に質問したが、その後、延命化が図れたのか。

また、未だに埋められている産業廃棄物の廃プラスチック類を早急に搬入規制すべきではないか。

答 当初計画より急速に埋立てが進んだことから、平成17年度に実施したごみの分別区分の見直しなどにより、平成26年度までの使用が可能となった。また、発泡スチロールなどの廃プラスチック類の中間処理施設の計画があり、搬入規制した場合には平成28年度まで延命化が図れるが、今後とも計画埋立期間の確保に努めたい。

(答弁者 市長)  
その他の主な質問項目  
ミュージアムロード構想  
地域交流まちづくりセンターの活用  
自主防災組織の強化

## 要介護認定の遅れに対する市の対応

丸尾 隆子 議員  
日本共産党

問 改定介護保険制度により、認定更新者の要介護認定に遅れが生じている。認定の遅れは、事業者に経営上のリスクを生じさせ、利用者のサービス後退を招く可能性がある。認定の遅れを取り戻すために、市はどのような努力をしようとしているか。

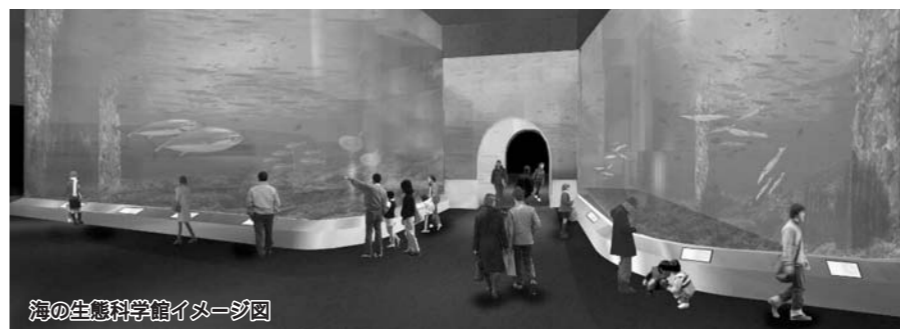
答 同制度の改正に伴い審査判定のための様式等の決定が遅れたことから、市も更新者の訪問調査の開始が遅れ、要介護認定に遅れが生じたものである。

市は、本年4月に専任調査員の増員を予定していたが資格要件から十分に確保できていないため、引き続きその確保に努力するとともに、訪問調査の委託先事業所に調査件数の増を依頼するなど、要介護認定の遅れの解消に努めたい。

(答弁者 福祉部長)  
その他の主な質問項目  
手話通訳・要約筆記派遣事業  
大間原子力発電所の対策  
医療費の病院窓口請求

計画の推進には、市民説明会での意見や議会の意向さらに財政状況も考慮し、慎重に取り組んでいきたい。

(答弁者 市長・企画部長)



海の生態科学館イメージ図

## 水産資源の維持と増大対策

蛭谷 邦男 議員  
南かやべ議員団

問 北海道の漁業は、サケ・マス放流事業をはじめとした栽培漁業が大きな役割を担ってきたが、隣町の道の研究施設が無くなることで栽培漁業の衰退が危惧される。

水産都市函館として漁業生産を考えれば、水産資源を維持しながら海域の特性を生かした栽培漁業の展開と新しい資源づくりが必要ではないか。

答 資源の維持・増大を図るため、ウニやヒラメなど従来から稚魚放流に取り組んできたが、昨年度からは、ガゴメの資源増大対策を実施しており、今年度にはナマコ種苗技術開発に着手したほかマツカワの放流を開始する。

(答弁者 市長・農林水産部長)  
その他の主な質問項目  
学校給食の食育指導の現状と取り組み  
地域の特色を生かした学校給食と地場産品の活用

## 産後うつ病対策

小谷野 千代子 議員  
公明党

問 産後の母親は、ホルモンバランスの変化により、産後うつ病にかかりやすいと言われており、北海道では、こうした母親を早期に見出し、安心して育児が出来るように適切な支援をしているが、市の新生児訪問指導の現状はどのようなものか。

また、産後うつ病のアンケート調査を実施する予定はないか。

答 当市では、保護者からの電話相談などにより訪問対象者を把握し、新生児の発育等のほか、母親の身体的・精神的な支援などにも重点を置きながら、新生児訪問指導をはじめ母親の相談や指導を継続的に実施している。

また、産後うつ病アンケート調査の実施については、今後、実施に向けて内容や手法等を検討していきたい。

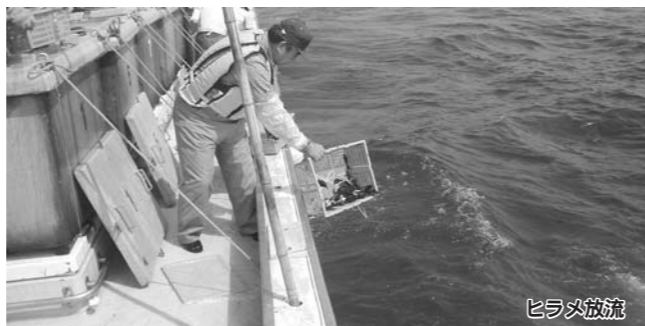
(答弁者 保健所長)  
その他の主な質問項目  
医療制度改革  
育児支援家庭訪問事業の内容と体制  
食育の推進



## 市議会ホームページのおしらせ!

市議会のホームページでは、会議の予定や、議事録など、議会の情報をお知らせしております。ぜひ、ご覧ください。

ホームページアドレス  
<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/gikai/>



ヒラメ放流

地域住民の交流拠点として合併設計画に位置づけられており、整備にあたっては地域会館の老朽化や利用実態、地域バランスを考慮し、市の厳しい財政状況を踏まえ慎重に進めて行く必要がある。現在、関係部局が連携して「コミュニティ施設のあり方」について総合的な視点で検討を進めている。

(答弁者 市民部長)  
その他の主な質問項目  
観光施策としての恵山地域の位置づけ  
不法投棄監視員の設置  
恵山高校閉校後の対応

## 恵山地域コミュニティセンターの整備

佐々木 一朗 議員  
恵山議員団

問 日ノ浜会館は恵山地域の中心に位置しており、使用頻度も多く長年活用してきたが、老朽化が進み建て替えが検討されてきた。

合併設計画では、地域住民の活動拠点となる地域コミュニティ施設整備が載っており、早期に整備が必要と思うが、現時点での取り組み状況を伺いたい。

答 コミュニティ施設の整備については、



日ノ浜会館